EIDAI

S316

室内ドア 引き戸本体

施工・取扱説明書

このたびは、室内ドアをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

施工される方へ➲開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。また、本説明書に基づき正しく施工後、本説明書を必ずお客様へお渡しください。

お客様へ➲ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになられたあと、大切に保管してください。

安全上のご注意

■ 表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。

⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

⃠	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	❗	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

もくじ

お取り扱い上のご注意 …… 2
1. 部材・部品表 …… 3
2. 姿図 …… 4
3. 施工手順 …… 4～5
4. 施工終了後 …… 5～7
5. 養生・お手入れ方法 …… 8
　5－1. 養生 …… 8
　5－2. お手入れ方法 …… 8
6. 使用上のご注意 …… 8

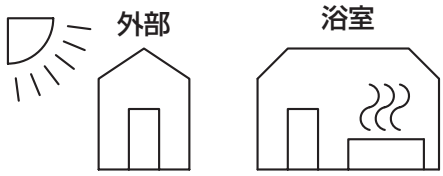
お取り扱い上のご注意

以下の注意事項は、施工される方や住まわれる方への危害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

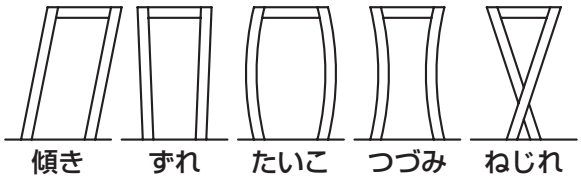
⚠注 意

- 間違った施工は思わぬ事故や故障の原因となります。また本説明書と異なった施工で発生した製品の不具合についての返品・取り替えはご容赦ください。
- 本説明書は当社カタログ標準品に準じた寸法等の表示をしております。特注・特寸対応した製品については、現品のサイズ・加工等を確認のうえ施工を行ってください。
- 本製品は、ホルムアルデヒドなどの空気環境を考慮したものですが、施工の際にご使用になる現場調達品（飼木・接着剤など）によっては空気環境対策外の製品となる場合がありますのでご注意ください。

当社「室内ドア」は、一般住宅用（室内専用）です。業務用や屋外または屋外に面する場所や浴室などに使用しないでください。



引き戸枠を施工する際は水平・垂直を確認し、下図のような状態にならないように取り付けてください。
引き戸が閉りにくくなったり、すき間ができる原因となります。



引き戸枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、乾燥した飼木を入れてください。

引き戸本体のファインモーション金具および簡易ブレーキ金具は、取り外さないでください。
また、ファインモーション金具にあるオイルユニットのオイルを抜いたり、注入したりすると故障の原因になります。

コンクリートやモルタルに直接施工しないでください。やむを得ず施工する場合は、必ず防水処理をしてください。

開梱後、長く放置しておくと反りや変形の原因になりますので、すみやかに施工してください。

施工が完了するまでは、引き戸本体や枠セットを水平に保管してください。立て掛けた状態での保管は反り発生の原因となります。

本製品の組み立て・施工時には同梱の指定ビスを使用してください。
他のビスを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆるみなどの原因となります。（本説明書内で「現場調達」と記載している場合は除きます）

建築工事中は引き戸本体を養生・保全し、施工完了後に吊り込むことをおすすめします。

製品施工後は水などで、引き戸本体・引き戸枠をぬらさないようにしてください。

ファインモーション受けピンや簡易ブレーキ受け金具、関止め金具が、必ず所定位置（鴨居レールに取り付け穴加工済み）に取り付けられているかご確認ください。また、引き戸本体を吊り込んだり、外す際には、必ずファインモーション受けピンや簡易ブレーキ受け金具、関止め金具に衝突しないよう避けた位置にて作業を行ってください。

お手入れ方法は8ページをご覧ください。

1．部材・部品表

■引き戸本体

部材名・形状	入数	部材名・形状	入数
引き戸本体	1	ファインモーション金具 （引き戸本体に取り付け済み）	※1
左右調整上戸車 （引き戸本体に取り付け済み）	※1	簡易ブレーキ受け金具 （取り付けビス付き）	※1
2次元調整戸車 （引き戸本体に取り付け済み）	2	簡易ブレーキ金具 （引き戸本体に取り付け済み） （簡易ブレーキ受け金具と取り付けビスは簡易ブレーキ金具にセットされた状態で取り付けています。）	※1
引き手 （引き戸本体に取り付け済み）	2		
施工・取扱説明書　（本説明書）	1		

※1．ファインモーション金具、簡易ブレーキ金具および受け金具、左右調整戸車の入数は、下図のとおりになります。

部材名 ＼ 引き戸本体の品番（4ページ　2. 姿図）参照	VDD-3BH	VDD-1KH	VDD-5H	オプション「+L」の場合
ファインモーション金具	1	0	0	0
簡易ブレーキ金具および受け金具	1	2	1	0
左右調整上戸車	0	0	1	2

■洗面所用引き戸本体・トイレ用引き戸本体

部材名・形状（オプション）	入数	部材名・形状（オプション）	入数
※2 スモールライト （引き戸本体に取り付け済み）	1	チューブラ錠	1
		※3 鎌錠サムターン	1

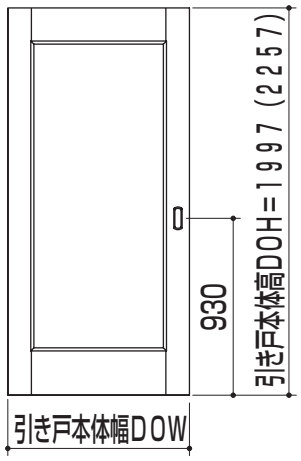
※2．トイレ用引き戸本体のみ標準仕様となります。

※3．洗面所用引き戸本体は間仕切鎌錠、トイレ用引き戸本体は表示鎌錠になります。

2．姿図

■引き戸本体

（単位：mm）



VDD－△●● サイズ番号 ☆※

商品連番

開口の種類と部品構成を表す記号

色記号

標準	
サイズ番号	DOW
207	736
307	814
407	858
507	878

ハイドアの場合は8

※（　）内の寸法はハイドアの場合です。

3．施工手順

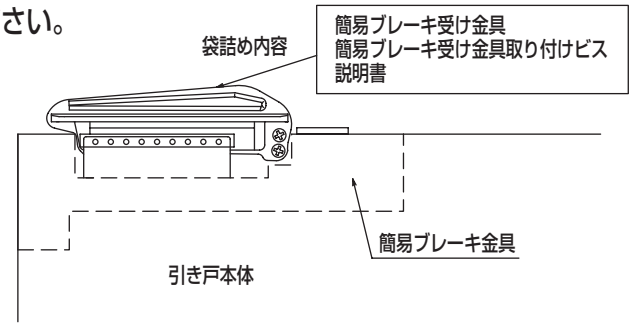
①引き戸本体の上部に取り付けられている金具を確認してください。

A．簡易ブレーキ機構がある場合

イ．簡易ブレーキ受け金具と取り付けビスは、引き戸本体の簡易ブレーキ金具に取り付けてあります。

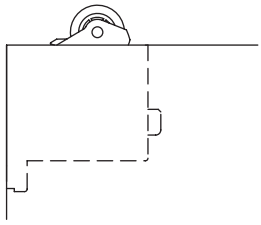
ロ．袋詰めされた簡易ブレーキ受け金具、取り付けビスと説明書を取り出してください。

ハ．簡易ブレーキ金具は、袋詰めの説明書、もしくは、引き戸枠の施工・取扱説明書をご覧のうえ、同梱の取り付けビスにて鴨居レールに取り付けてください。



B．ファンモーション機構および簡易ブレーキ機構がない場合

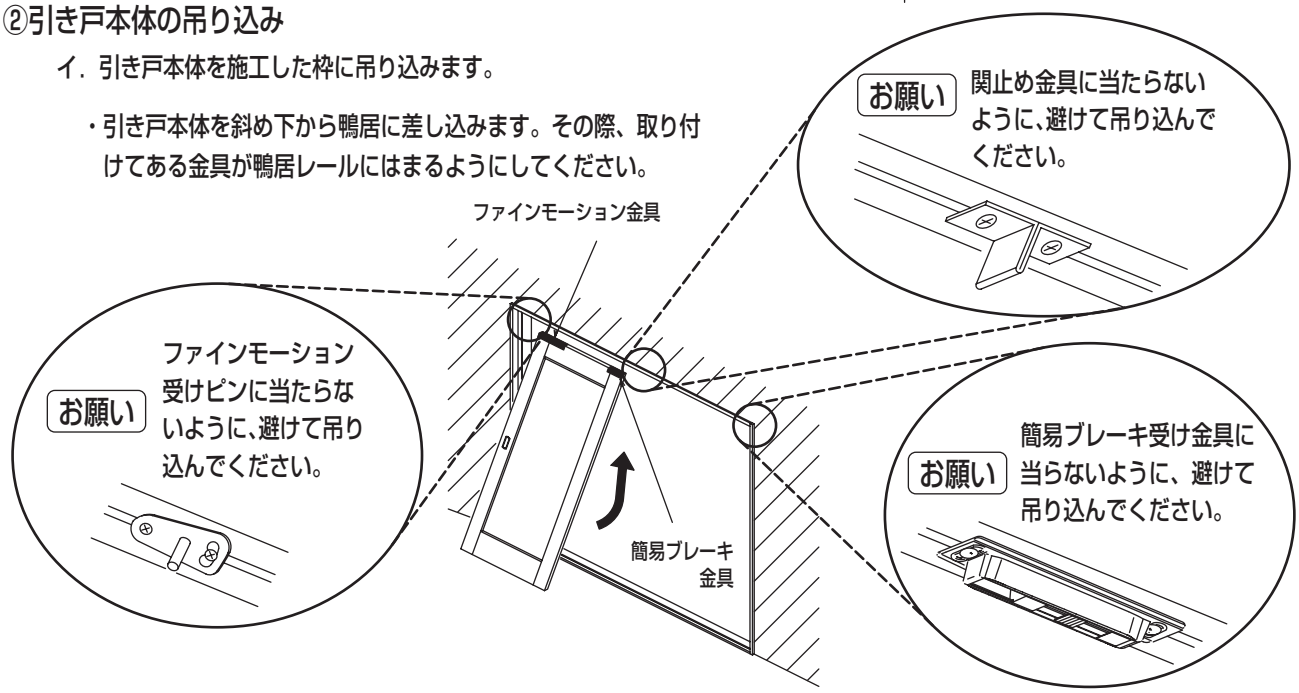
・左右調整上戸車が付いています。



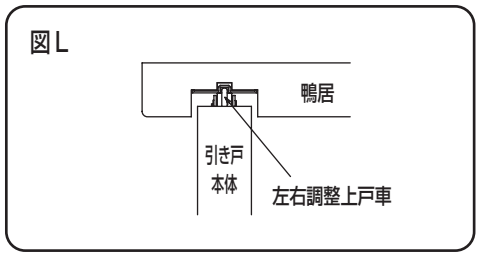
②引き戸本体の吊り込み

イ．引き戸本体を施工した枠に吊り込みます。

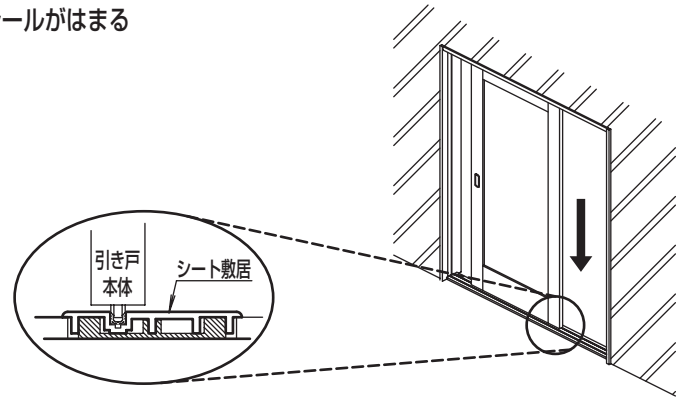
・引き戸本体を斜め下から鴨居に差し込みます。その際、取り付けてある金具が鴨居レールにはまるようにしてください。



・左右調整上戸車の場合は、図Ｌのように、左右調整上戸車を鴨居レール溝にはまるようにしてください。



ロ．引き戸本体下に取り付けてある戸車と敷居レールがはまるようにして引き戸本体を下ろしください。



③ 引き戸を吊り込み完了後、一度引き戸を静かに閉めてください。ファインモーション機構が作動します。

④ファインモーション機構が作動しない場合

ブレーキ受けピンがファインモーション機構に届いていない恐れがあります。下戸車の調整により引き戸本体を少し上へ上げる調整をしてください。

4．施工終了後

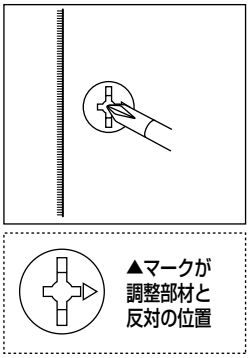
■各種金具の調整方法

引き戸本体の施工後に、すき間・ガタつきなどがある場合は、
以下の要領で金具の調整を行ってください。

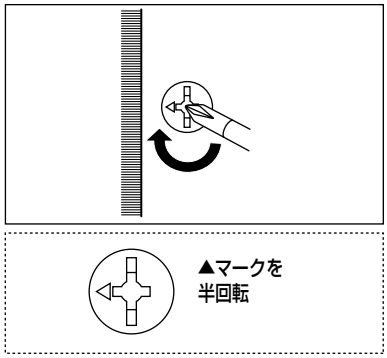
●中方立調整部材で調整

モヘア付調整金具の場合

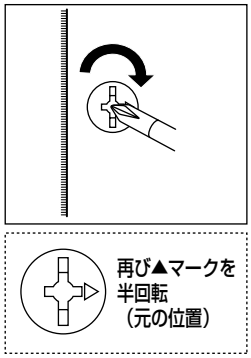
モヘア出寸法は
初期設定で1.5mmです。



ツマミを半回転すると、
出寸法が9.0mm（最大）になります。

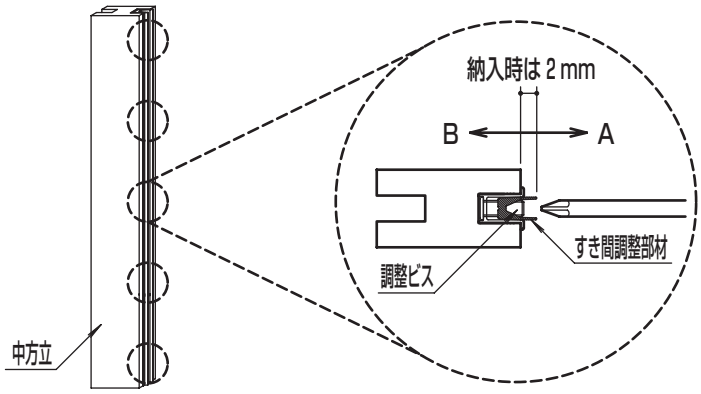


さらに半回転すると、
元の1.5mmに戻ります。



樹脂部材付調整金具の場合

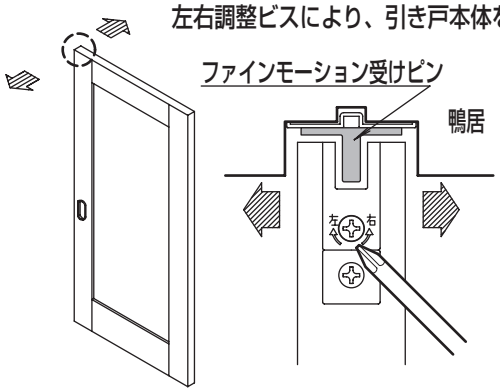
①引き戸本体を枠から外す。
②調整ビスにより、すき間調整部材の出寸法を調整する。（調整ビスは５カ所あります。）



・調整範囲：納入時より
A方向に６mm調整可能。
B方向に０.５mm調整可能。
・調整ビスを右に回すと調整部材がA方向に出てきます。

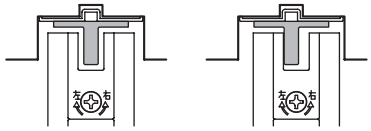
●ファインモーション金具の調整方法

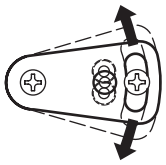
左右調整ビスにより、引き戸本体を左右に調整する。



・調整範囲：
基準位置より右に２mm
左に２mm
左右調整ビスを
右に回すと引き戸本体が左へ動きます。
左に回すと引き戸本体が右に動きます。

ファインモーション受けピンがファインモーション金具の中央になるように調整してください。



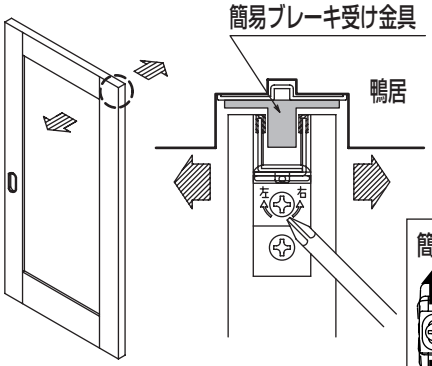


ファインモーション受けピンは、調整可能です。

お願い 調整は、ハンドドライバーをご使用ください。
電動ドライバー等はご使用にならないでください。

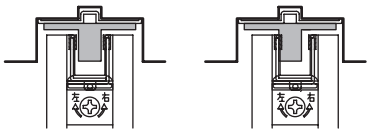
●簡易ブレーキ金具の調整方法

①左右調整ビスにより、引き戸本体を左右に調整する。

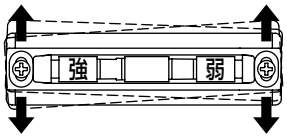


・調整範囲：
基準位置より右に２mm
左に２mm
左右調整ビスを
右に回すと引き戸本体が左へ動きます。
左に回すと引き戸本体が右に動きます。

簡易ブレーキ受けが簡易ブレーキ金具の中央になるように調整してください。

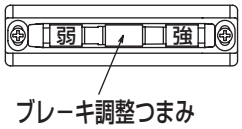


簡易ブレーキ受けは、調整可能です。



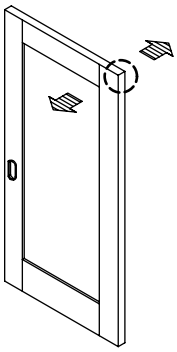
お願い 調整は、ハンドドライバーをご使用ください。
電動ドライバー等はご使用にならないでください。

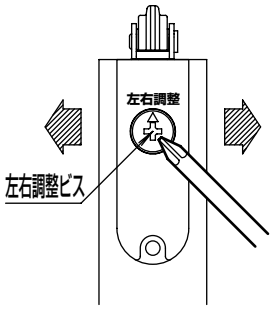
②取り付け後に、ブレーキ調整つまみを左右に動かして引き戸本体を強く閉めても戸車が脱線しない程度に調整してください。



●左右調整上戸車で調整（左右調整）

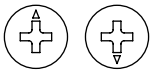
左右調整ビスにより、引き戸本体を左右に調整する。





・調整範囲：基準位置より右に 2 mm、左に 2 mm
調整可能。

・左右調整ビスが・・・

 のときは、戸車は中央の位置に、

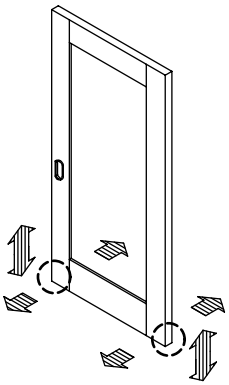
のときは、右端の位置に、

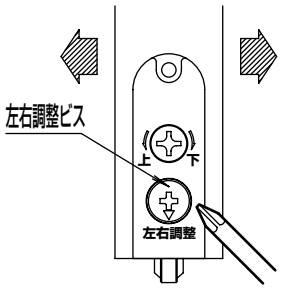
のときは、左端の位置に寄ります。

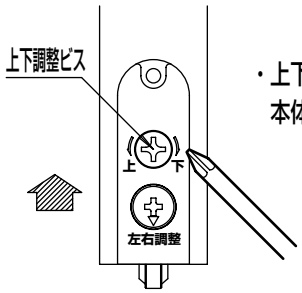
●２次元調整戸車で調整（左右・上下調整）

①左右調整上戸車と同様に左右調整ビスで調整する。
※調整範囲は上戸車と同様です。

②上下調整ビスにより、引き戸本体を上下に調整する。







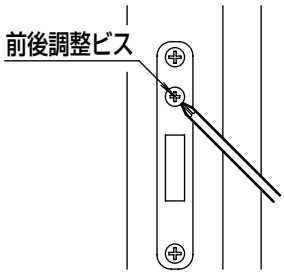
・調整範囲：基準位置より引き戸本体が上に3mm
下に1mm調整可能。

・上下調整ビスを左に回すと引き戸本体が上がります。

■鎌錠がかかりにくい場合の調整

●鎌錠ストライクで調整

（引き分け戸には取り付けできません）



前後調整ビスにより、鎌錠の鎌部分のかかりを調整する。

・調整範囲：基準位置より調整ブロックが
奥に 2.8 mm調整可能。

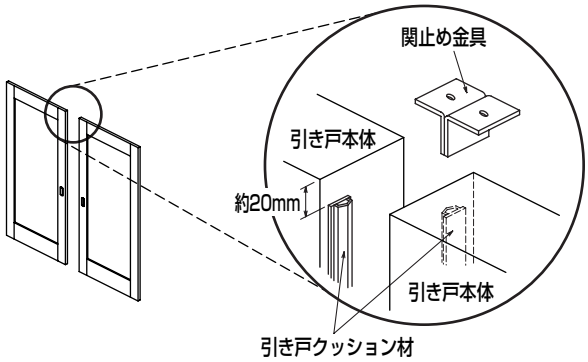
・前後調整ビスを左に回すと調整ブロックが奥に動きます。

■２本の引き戸本体の間にすき間ができる場合

●引き戸クッション材の取り付け

（引き分け戸枠、４枚２本引き戸枠のみ同梱しています）

・引き戸クッション材の裏面の両面テープで、引き戸本体の木口に交互に貼り付けてください。
・引き戸クッション材が、関止め金具に当たらないように、引き戸本体の上端より約２０mm程下げた位置に貼り付けてください。



5．養生・お手入れ方法

5−1．養生

・当て傷・擦り傷等がつかないように保護シート等で養生してください。

5−2．お手入れ方法

・引き戸本体が汚れている場合は、水を含ませた雑巾を固く絞り、拭き取ってください。
金属はやわらかい布で乾拭きしてください。

お願い

・酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
シートのフクレやねじれ、塗装・メッキのはがれやサビの原因となります。
・レールおよびファインモーション金具には、潤滑油等を塗布しないでください。ブレーキ力が弱まりファインモーション機構が作動しなくなる場合があります。

6．使用上のご注意

・ファインモーション機構や簡易ブレーキ機構は、引き戸本体を開閉した際に発生する衝突音を抑え、引き戸本体の跳ね返りを少なくするもので、指挟み等を防止するものではありません。
・ファインモーション金具のオイルダンパーが室温などの影響を受けて、引き戸の閉まる速度が変わる場合があります。
・ファインモーションの機能が働かなくなった場合は、一度引き戸本体を完全に閉めてください。

・引き戸本体に取り付いているファインモーション金具および簡易ブレーキ金具は、取り外さないでください。また、オイルユニットのオイルを抜いたり、注入すると故障の原因になります。
・引き戸本体の開閉は静かに行ってください。勢いよく閉めるとブレーキ機構が破損する場合があります。
・引き戸に寄りかからないでください。
転倒や引き戸の破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。
・開閉にあたっては、引き戸どうしのすき間や枠のすき間に手を置かないでください。
指を挟んでケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
・暖房器具などから発生する熱風、熱気が当たらないようにしてください。
引き戸の反り、変色などの原因になります。
・引き戸に粘着テープでポスターなど貼らないでください。表面が傷む恐れがあります。
・本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。
材質の特性により表面が膨れたり、シミ、変色などが発生する恐れがあります。
・使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取り付け部分などの確認をしてください。
ご自身で対処できない場合には、施工店にご相談ください。
・敷居レールに、ホコリや砂が付着すると引き戸の走行に支障が生じる場合がありますので、こまめに掃除をしてください。

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問い合わせください。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
内装システム事業部

お客様相談センター
0120-685-110
受付時間 平日 9:00~19:00 土日祝 9:00~18:00
休業日 年末年始
E-mail : cs@eidai-sangyo.co.jp

S316Ie1002hpHP 第 4 版